

日本発ウィーン便り～雨のシェーンブルン

旅行中、できれば毎日お天気が良いのですが、なかなかそう都合よくはいきません。今年のヨーロッパは9月に入って、雨続きで、寒くなるのが早くて、早くも暖房が必要な日もあったとか。現地の友人たちからは、「お願い！ちょっとでいいから、太陽を連れてきて！」とお願いされ、「わかった。がんばる。」となんの根拠もない返事をしながらも、到着した夜のウィーンは雨。まあ、明日は晴れるだろうと思っていたら、翌日も雨…。でも雨が降ったからって、ホテルでごろごろしているもの暇なので、いつもの定番コース、シェーンブルン宮殿までお散歩に行ってきました。シェーンブルン宮殿はウィーンに来れば必ず一度はカメラを片手に散歩に行く場所です。



この宮殿、建物自体も大きいですが、庭園まで入れるとかなりの面積です。歩いて回ろうと思うと大変です。(時間の余裕があればそれも楽しいですけどね。)



自力ではしんどい！という人にお勧めなのが、このトラム。もしくは馬車でしょうか。トラムは30分に1本くらい走っていて、広大な庭園の見所でうまく停車してくれます。



こんな感じ。ただ乗っていてもざっと1時間くらいでしょうか？一日乗り降りし放題で5ユーロくらい。もしくは馬車を一台貸切もロマンチックでいいですね～。(こちらは30分で1台60ユーロくらい？)



シェーンブルンといえば、定点観測。まずは第一ポイント。



前回は仲良く遊んだ(?)はずのリスですが…。今回すごい勢いでこっちに向かってきたので、「お？歓迎？」と思ったら、カメラを向けた瞬間、またすごい勢いで走り去っていきました。おかげで「走り去る尻尾」みたいな写真になりました。向かってきたのは一体何だったんだろう？



春から秋は庭園も色とりどりです。今年は赤と白、オーストリアの国旗の色でした。



長いこと修復中だった噴水も久々に水が流れていました。



お気に入りの風景の一つです。

雨だったのですが、なんとなく久々にグロリエッテの丘に登ってみよう！という気分にな...



丘の上のグロリエッテに到着。お城の中にある、マリア・テレジアさんのお部屋からは、このグロリエッテが正面に見えるようになっているんですよ。戦争の勝利を記念して建てられたものです。今では、中はカフェになっています。ウィーンの街を眺めながら、美味しいコーヒーもいいですね。



丘の上からはウィーンが一望できます。晴れの日はもちろんですが、空が暗いときにもシェーンブルンの黄色（テレジアン・イエローという色です）が映えます。

ツアーでは、お城の中には入るのですが、残念ながら、庭園まではなかなか時間がないです。馬車博物館、人形劇の劇場、温室、パンダもいる動物園、迷路など、結構いろんなものがあります。ここでジョギングしたり、散歩したり、晴れた日にはベンチに座って本を読んだり、夏には日光浴をしたりする地元の人も多いです。地元の人と同じように、グロリエッテの丘に登ったり、途中の森の中を散歩したりと、のんびり過ごしてみるのもなかなか楽しいです。シェーンブルンはウィーンを中心から地下鉄で15分くらいの場所にあるのですが、中心地に比べて夏は涼しく、冬は寒いです。特に冬はシェーンブルンに行かれる際（特に庭園まで散歩しようと思う時）はしっかり防寒をお勧めします。春から秋の色彩あふれる時期もステキですが、冬の雪景色もステキです。

行った時々で、いつも何か違うステキに出会える場所です。

一度と言わず、是非、何度でも訪れてみてください。あ、その後の天気ですが、見事に晴れて、その後数日暑いくらいの日が続きました。皆に感謝されました。はい、見事に「晴れ女」です。☺